

議 第 2 1 号

令 和 4 年 度

吉野町水道事業特別会計予算書

吉 野 町

目次

1. 令和4年度吉野町水道事業特別会計予算書

<u>令和4年度吉野町水道事業特別会計予算</u>	1頁
<u>令和4年度吉野町水道事業特別会計予算実施計画</u>	3頁
<u>令和4年度吉野町水道事業特別会計予定キャッシュ・フロー計算書</u>	4頁
<u>給与費明細書</u>	5頁
<u>令和4年度吉野町水道事業特別会計予定貸借対照表</u>	7頁
<u>令和4年度吉野町水道事業特別会計会計書類に関する注記事項</u>	9頁
<u>令和3年度吉野町水道事業特別会計予定損益計算書（前年度分）</u>	11頁
<u>令和3年度吉野町水道事業特別会計予定貸借対照表（前年度分）</u>	13頁
<u>令和3年度吉野町水道事業特別会計会計書類に関する注記事項（前年度分）</u>	15頁
<u>令和4年度吉野町水道事業特別会計予算説明書</u>	17頁

令和4年度吉野町水道事業特別会計予算

(総則)

第1条 令和4年度吉野町水道事業特別会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 給水戸数(開栓戸数)	3,780件
(2) 年間総給水量	691,000m ³
(3) 一日平均給水量	1,893m ³
(4) 主な建設改良事業等の事業費 峰寺地区送配水管布設替工事	55,693千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入		
第1款 水道事業収益		346,180千円
第1項 営業収益		179,620千円
第2項 営業外収益		166,510千円
第3項 特別利益		50千円
支 出		
第1款 水道事業費用		366,770千円
第1項 営業費用		339,850千円
第2項 営業外費用		24,720千円
第3項 特別損失		200千円
第4項 予備費		2,000千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額139,990千円は当年度分損益勘定留保資金128,784千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額10,117千円、減債積立金1,089千円で補てんするものとする。)

収 入		
第1款 資本的収入		172,940千円
第1項 企業債		80,400千円
第2項 工事負担金		7,700千円
第3項 他会計補助金		67,440千円
第4項 出資金		17,400千円
支 出		
第1款 資本的支出		312,930千円
第1項 建設改良費		130,130千円
第2項 企業債償還金		182,800千円

(企業債)

第5条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
峰寺地区送配水管布設替工事他	80,400千円	証書借入 又は 証券発行	3%以内	政府資金又は地方公共団体金融機構資金については、その融資条件により、銀行その他の場合には、その債権者と協定するものとする。ただし、財政その他の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、若しくは繰上償還又は低利に借換えすることができる。

(一時借入金)

第6条 一時借入金の限度額は、15,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第7条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

- (1) 収益的支出における各項間の流用
- (2) 資本的支出における各項間の流用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第8条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

- (1) 職員給与費

35,700千円

(他会計からの補助金)

第9条 高料金対策に要する経費及び簡易水道統合整備事業等における企業債償還金を支出するため一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、145,740千円である。

(たな卸資産購入限度額)

第10条 たな卸資産の購入限度額は、2,035千円と定める。

令和 4 年 3 月 日提出

吉 野 町 長 中 井 章 太

令和4年度吉野町水道事業特別会計予算実施計画

収益的収入及び支出

(単位：千円)

収 入

款	項	目	予定額	備考
1. 水道事業収益			346,180	
	1. 営業収益		179,620	
		1. 給水収益	178,250	
		2. 受託工事収益	30	
		3. その他営業収益	1,340	
	2. 営業外収益		166,510	
		1. 受取利息	70	
		2. 給水分担金	220	
		3. 使用料	8,390	
		4. 雑収益	1,020	
		5. 他会計補助金	78,300	
		6. 消費税	330	
		7. 長期前受金戻入益	78,180	
	3. 特別利益		50	
		1. 特別利益	50	

支 出

款	項	目	予定額	備考
1. 水道事業費用			366,770	
	1. 営業費用		339,850	
		1. 原水及び浄水費	39,840	
		2. 配水及び給水費	37,480	
		3. 受託工事費	0	
		4. 総係費	25,370	
		5. 減価償却費	237,160	
	2. 営業外費用		24,720	
		1. 支払利息	24,020	
		2. 雑支出	700	
		3. 消費税	0	
	3. 特別損失		200	
		1. 特別損失	200	
	4. 予備費		2,000	
		1. 予備費	2,000	

資本的収入及び支出

(単位：千円)

収 入

款	項	目	予定額	備考
1. 資本的収入			172,940	
	1. 企業債		80,400	
		1. 企業債	80,400	
	2. 工事負担金		7,700	
		1. 工事負担金	7,700	
	3. 他会計補助金		67,440	
		1. 他会計補助金	67,440	
	4. 出資金		17,400	
		1. 出資金	17,400	

支 出

款	項	目	予定額	備考
1. 資本的支出			312,930	
	1. 建設改良費		130,130	
		1. 施設改良費	130,130	
	2. 企業債償還金		182,800	
		1. 企業債償還金	182,800	

令和4年度吉野町水道事業特別会計予定キャッシュ・フロー計算書
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(単位：円)

1 事業活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純損失	△ 30,196,486
減価償却費	237,160,000
資産減耗費	0
材料費	1,850,000
退職給付引当金の増加額	0
賞与引当金等の増加額	20,091
修繕引当金等の減少額	△ 1,810,000
貸倒引当金の増加額	0
雑収入(4条特定収入消費税調整額)	△ 700,000
長期前受金戻入額	△ 78,180,000
受取利息及び配当金	△ 70,000
支払利息及び企業債取扱諸費	24,020,000
営業及び営業外未収金減少額	192,360,958
営業及び営業外未払金・未払費用減少額	△ 10,224,849
前払金・前払費用増加額	0
前受金・仮受金増加額	0
その他流動負債の増加額	0
その他流動資産の増加額	0
小計	<u>334,229,714</u>
受取利息及び配当金	70,000
支払利息及び企業債取扱諸費	<u>△ 24,020,000</u>
業務活動によるキャッシュ・フロー①	<u>310,279,714</u>
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産取得・建設改良事業等実施額	△ 121,862,728
国庫補助金による収入	0
他会計補助金による収入	0
工事負担金による収入	7,700,000
投資活動によるキャッシュ・フロー②	<u>△ 114,162,728</u>
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良等の財源に充てるための企業債による収入	80,400,000
建設改良等の財源に充てるための企業債償還による支出	△ 182,800,000
その他の企業債による収入	0
その他の企業債償還による支出	0
建設改良等の財源に充てるための他会計借入金による収入	0
建設改良等の財源に充てるための他会計借入金償還による支出	0
その他の他会計借入金による収入	0
その他の他会計借入金償還による支出	0
リース債務の支払	0
出資金の受入額	84,840,000
一般会計補助金の受入額	0
財務活動によるキャッシュ・フロー③	<u>△ 17,560,000</u>
資金増加額(又は減少額)④=①+②+③	178,556,986
資金期首残高	<u>58,362,055</u>
資金期末残高	<u><u>236,919,041</u></u>

給 与 費 明 細 書

1. 総括

(単位：千円)

区分	職員数	給与費			法定 福利費	退職 給与金	合 計	
		給料	手当	計				
当 年 度	損益勘定支弁職員	(6) 2.00	6,746	4,511	11,257	1,971	1,147	14,375
	資本勘定支弁職員	2.00	8,587	5,977	14,564	2,892	1,460	18,916
	計	(6) 4.00	15,333	10,488	25,821	4,863	2,607	33,291
前 年 度	損益勘定支弁職員	(6) 2.00	6,222	4,225	10,447	1,876	1,244	13,567
	資本勘定支弁職員	2.00	8,193	5,758	13,951	2,739	1,639	18,329
	計	(6) 4.00	14,415	9,983	24,398	4,615	2,883	31,896
比 較	損益勘定支弁職員	(0) 0.00	524	286	810	95	△ 97	808
	資本勘定支弁職員	0.00	394	219	613	153	△ 179	587
	計	(0) 0.00	918	505	1,423	248	△ 276	1,395

注 1. 職員数欄 () 内は、パートタイム会計任用職員数について外書き。

手 当 の 内 訳	区分	期末勤勉	扶養	児童	通勤	時間外 勤務	住居	管理職	管理職 特勤
	本年度	5,800	774	420	275	2,400	336	456	27
	前年度	5,628	618	0	593	2,760	0	360	24
	比較	172	156	420	△ 318	△ 360	336	96	3

2. 給料及び手当の増減額の内訳

(単位：千円)

区分	増減額	増減事由別内訳	説 明	備 考
給料	918	昇給に伴う増減分	87	平均昇給率 1.0385%
		その他の増減分	831	人事異動 2.0人
手当	505	その他の増減額	505	前記1.総括欄の手当の内訳のとおり

3. 給料及び手当の状況

(1) 職員一人当たりの給与

区 分	事務、技術職給料表	
令和4年1月1日現在	平均給料月額 (千円)	312
	平均給与月額 (千円)	351
	平均年齢 (歳)	44
令和3年1月1日現在	平均給料月額 (千円)	272
	平均給与月額 (千円)	288
	平均年齢 (歳)	39

(2) 初任給

(単位：円)

区分	一般行政職	技能労務職	一般会計の制度	
			一般行政職	技能労務職
高校卒	150,600	143,800	150,600	132,300
短大卒	160,100	—	160,100	—
大学卒	171,700	163,300	171,700	—

(3) 級別職員数

区 分	事務、技術職		
	級	職員数	構成比
令和4年1月1日現在	1級	—	—
	2級	1	25%
	3級	2	50%
	4級	—	—
	5級	1	25%
	6級	—	—
	計	4	100%
令和3年1月1日現在	1級	1	33%
	2級	—	—
	3級	2	67%
	4級	—	—
	5級	—	—
	6級	—	—
	計	3	100%

(級別の標準的な職務内容)

区 分	1級	2級	3級	4級	5級	6級
一般行政職	主事、主事補の職務	主査及びこの職務に相当する職務	主任及びこの職務に相当する職務。高度の知識又は経験を必要とする主査及びこの職務に相当する職務	課長補佐及びこの職務に相当する職務	課長、主幹及びこの職務に相当する職務	参事及びこの職務に相当する職務

(4) 期末、勤勉手当

区 分	支給期別支給率		支給率	備 考
	6月	12月		
本年度	2.125ヵ月	2.125ヵ月	4.25ヵ月	
前年度	2.200ヵ月	2.200ヵ月	4.40ヵ月	
一般会計の制度	2.125ヵ月	2.125ヵ月	4.25ヵ月	

(5) その他の手当

区 分	一般会計の制度との異同
扶養手当	同一
調整手当	同一
住居手当	同一
通勤手当	同一

令和4年度吉野町水道事業特別会計予定貸借対照表
(令和5年3月31日)

(単位：円 税抜)

資産の部

1 固定資産

(1)有形固定資産

イ 土地		169,641,272	
ロ 建物	154,555,040		
減価償却累計額	<u>△ 78,779,163</u>	75,775,877	
ハ 構築物	7,378,972,045		
減価償却累計額	<u>△ 3,128,305,167</u>	4,250,666,878	
ニ 機械及び装置	2,011,000,105		
減価償却累計額	<u>△ 1,398,071,946</u>	612,928,159	
ホ 車両及び運搬具	8,713,000		
減価償却累計額	<u>△ 8,277,350</u>	435,650	
ヘ 器具及び備品	12,231,161		
減価償却累計額	<u>△ 6,299,166</u>	5,931,995	
ト 建設仮勘定		<u>16,215,000</u>	

有形固定資産合計 5,131,594,831

(2)無形固定資産

イ ソフトウェア		18,513,800	
ロ 水利権		<u>81,752,456</u>	

無形固定資産合計 100,266,256

固定資産合計

5,231,861,087

2 流動資産

(1)現金預金 236,919,041

(2)未収金

イ 現年度分未収金	27,480,786		
ロ 過年度分未収金		<u>1,664,820</u>	

未収金合計 29,145,606

(3)貸倒引当金

△ 1,300,000

流動資産合計

264,764,647

資産合計

5,496,625,734

負債の部

3 固定負債

(1)企業債 1,929,296,150

(2)引当金 4,190,000

固定負債合計

1,933,486,150

4 流動負債

(1)未払金 12,367,256

(2)預かり金 1,901,620

(3)企業債 178,125,229

(4)引当金 2,350,842

流動負債合計

194,744,947

5 繰延収益

(1)長期前受金

イ 工事負担金 1,395,147,671

ロ 国庫補助金 1,495,617,579

ハ 県補助金 385,861,485

ニ 一般会計補助金 9,416,865

ホ 工事寄付金 47,588,216

ヘ 水力発電交付金 12,477,500

ト その他資本剰余金 188,521,400

長期前受金合計 3,534,630,716

(2)長期前受金			
収益化累計額			
イ 工事負担金	△ 747,826,164		
ロ 国庫補助金	△ 733,501,937		
ハ 県補助金	△ 249,868,887		
ニ 一般会計補助金	△ 5,712,328		
ホ 工事寄付金	△ 31,026,903		
ヘ 水力発電交付金	△ 7,780,226		
ト その他資本剰余金	△ 64,924,047		
長期前受金			
収益化累計額合計		△ 1,840,640,492	
繰延収益合計			1,693,990,224
負債合計			<u>3,822,221,321</u>
資本の部			
6 資本金			
(1)自己資本金			
イ 固有資本金	49,023,057		
ロ 繰入資本金	1,314,519,199		
ハ 組入資本金	215,419,918		
自己資本金合計		<u>1,578,962,174</u>	
資本金合計			1,578,962,174
7 剰余金			
(1)資本剰余金			
イ 工事負担金	84,664,434		
ロ 国庫補助金	14,204,000		
ハ 県補助金	7,563,000		
ニ 一般会計補助金	808,085		
ホ 工事寄附金	49,499,163		
ヘ その他資本剰余金	1,092,000		
資本剰余金合計		157,830,682	
(2)利益剰余金			
イ 減債積立金	97,965,247		
ロ 利益積立金	0		
ハ 建設改良積立金	73,470,000		
ニ 当年度未処分利益剰余金			
〔 △の場合は 未処理欠損金 〕	△ 233,823,690		
利益剰余金合計			
〔 △の場合は 欠損金 〕		△ 62,388,443	
剰余金合計			95,442,239
資本合計			<u>1,674,404,413</u>
負債+資本合計			<u>5,496,625,734</u>

令和4年度吉野町水道事業特別会計会計書類に関する注記事項

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ・ 貯蔵品
先入れ先出し原価法による。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

- ・ 減価償却の方法
定額法による。
- ・ 主な耐用年数

建物及び附属設備	10～60年
構築物	10～60年
機械及び装置	5～20年
車両及び運搬具	4年
工具器具及び備品	2～15年

(2) 無形固定資産（リース資産を除く）

- ・ 減価償却の方法
定額法による。
- ・ 主な耐用年数

ソフトウェア	5年
水利権	20年

3. 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

本町は、退職手当組合に加入しており、水道事業特別会計は一般会計を通じて、当該組合に掛金を拠出しているが、一般会計との取り決めにより、水道事業特別会計が一般会計に対して負担金を拠出して以降の追加的負担は全額一般会計において措置することとなっているため、水道事業特別会計においては退職給付引当金を計上せず、拠出時に費用処理を行っている。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当・勤勉手当及び、期末手当・勤勉手当に係る法定福利費の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 特別修繕引当金

設備等に係る定期修繕費用の支出に備えるため、支出見込額のうち前回の定期修繕の日から当年度末までの期間に対応する額を計上している。

4. 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。なお、控除対象外消費税等については、当年度の費用として処理している。

II. 予定キャッシュ・フロー計算書等に関する注記

1. 予定キャッシュ・フロー計算書等の表示方法

間接法による

Ⅲ. 予定貸借対照表等に関する注記

1. 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は719,414千円である。

2. 引当金の取崩し

(1) 賞与引当金の取崩し

令和4年度において、期末手当・勤勉手当及び、期末手当・勤勉手当に係る法定福利費として7,274千円を支給することとなったため、賞与引当金2,318千円を取り崩した。

(2) 特別修繕引当金の取崩し

令和4年度において、南院谷浄水場活性炭ろ過設備のろ過砂を交換することとなったため、特別修繕引当金3,810千円を取り崩した。

令和3年度吉野町水道事業特別会計予定損益計算書（前年度分）（単位：円 税抜）
（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

1 営業収益			
(1) 給水収益	131,263,900		
(2) 受託工事収益	179,889		
(3) その他営業収益	1,104,133	132,547,922	
2 営業費用			
(1) 原水及び浄水費	38,383,301		
(2) 配水及び給水費	32,822,430		
(3) 受託工事費	1,050,000		
(4) 総係費	20,846,357		
(5) 減価償却費	235,272,537	328,374,625	
営業利益			
(△の場合は営業損失)			△ 195,826,703
3 営業外収益			
(1) 受取利息	20,000		
(2) 給水分担金	200,000		
(3) 使用料	6,697,740		
(4) 雑収益	1,400,251		
(5) 他会計補助金	110,852,197		
(6) 長期前受金戻入益	80,156,596	199,326,784	
4 営業外費用			
(1) 支払利息	25,714,611		
(2) 雑支出	6,387,547	32,102,158	167,224,626
経常利益			
(△の場合は経常損失)			△ 28,602,077
5 特別利益			
(1) 特別利益	15,003,160	15,003,160	
6 特別損失			
(1) 特別損失	0	0	15,003,160
当年度純利益			
(△の場合は純損失)			△ 13,598,917
前年度繰越利益剰余金			
(△の場合は繰越欠損金)			△ 190,028,287
当年度未処分利益剰余金			
(△の場合は未処理欠損金)			△ 203,627,204

令和3年度吉野町水道事業特別会計予定貸借対照表（前年度分）
（令和4年3月31日）

（単位：円 税抜）

資産の部

1 固定資産

(1)有形固定資産

イ 土地 169,641,272

ロ 建物 154,555,040

減価償却累計額 △ 75,626,163 78,928,877

ハ 構築物 7,289,389,045

減価償却累計額 △ 2,978,950,167 4,310,438,878

ニ 機械及び装置 1,988,870,379

減価償却累計額 △ 1,324,565,946 664,304,433

ホ 車両及び運搬具 8,713,000

減価償却累計額 △ 8,277,350 435,650

ヘ 器具及び備品 12,231,161

減価償却累計額 △ 4,873,166 7,357,995

ト 建設仮勘定 7,902,000

有形固定資産合計 5,239,009,105

(2)無形固定資産

イ ソフトウェア 23,423,800

ロ 水利権 86,562,456

無形固定資産合計 109,986,256

固定資産合計

5,348,995,361

2 流動資産

(1)現金預金 58,362,055

(2)未収金

イ 現年度分未収金 219,881,744

ロ 過年度分未収金 1,624,820

未収金合計 221,506,564

(3)貸倒引当金 △ 1,300,000

流動資産合計

278,568,619

資産合計

5,627,563,980

負債の部

3 固定負債

(1)企業債 2,027,021,379

(2)引当金 6,000,000

固定負債合計

2,033,021,379

4 流動負債

(1)未払金 22,592,105

(2)預かり金 1,901,620

(3)企業債 182,800,000

(4)引当金 2,317,753

流動負債合計

209,611,478

5 繰延収益

(1)長期前受金

イ 工事負担金 1,388,147,671

ロ 国庫補助金 1,495,617,579

ハ 県補助金 385,861,485

ニ 一般会計補助金 9,416,865

ホ 工事寄付金 47,588,216

ヘ 水力発電交付金 12,477,500

ト その他資本剰余金 188,521,400

長期前受金合計 3,527,630,716

(2)長期前受金			
収益化累計額			
イ 工事負担金	△ 718,296,164		
ロ 国庫補助金	△ 698,451,937		
ハ 県補助金	△ 243,848,887		
ニ 一般会計補助金	△ 5,492,328		
ホ 工事寄付金	△ 29,986,903		
ヘ 水力発電交付金	△ 7,510,226		
ト その他資本剰余金	△ 58,874,047		
長期前受金			
収益化累計額合計		△ 1,762,460,492	
繰延収益合計			1,765,170,224
負債合計			<u>4,007,803,081</u>
資本の部			
6 資本金			
(1)自己資本金			
イ 固有資本金	49,023,057		
ロ 繰入資本金	1,229,679,199		
ハ 組入資本金	215,419,918		
自己資本金合計		<u>1,494,122,174</u>	
資本金合計			1,494,122,174
7 剰余金			
(1)資本剰余金			
イ 工事負担金	84,664,434		
ロ 国庫補助金	14,204,000		
ハ 県補助金	7,563,000		
ニ 一般会計補助金	808,085		
ホ 工事寄附金	49,499,163		
ヘ その他資本剰余金	1,092,000		
資本剰余金合計		157,830,682	
(2)利益剰余金			
イ 減債積立金	97,965,247		
ロ 利益積立金	0		
ハ 建設改良積立金	73,470,000		
ニ 当年度未処分利益剰余金			
〔 △の場合は 未処理欠損金 〕	△ 203,627,204		
利益剰余金合計			
〔 △の場合は 欠損金 〕		△ 32,191,957	
剰余金合計			125,638,725
資本合計			<u>1,619,760,899</u>
負債+資本合計			<u>5,627,563,980</u>

令和3年度吉野町水道事業特別会計会計書類に関する注記事項（前年度分）

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ・ 貯蔵品
先入れ先出し原価法による。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

- ・ 減価償却の方法
定額法による。
- ・ 主な耐用年数
建物及び附属設備 10～60年
構築物 10～60年
機械及び装置 5～20年
車両及び運搬具 4年
工具器具及び備品 2～15年

(2) 無形固定資産（リース資産を除く）

- ・ 減価償却の方法
定額法による。
- ・ 主な耐用年数
ソフトウェア 5年
水利権 20年

3. 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

本町は、退職手当組合に加入しており、水道事業特別会計は一般会計を通じて、当該組合に掛金を拠出しているが、一般会計との取り決めにより、水道事業特別会計が一般会計に対して負担金を拠出して以降の追加的負担は全額一般会計において措置することとなっているため、水道事業特別会計においては退職給付引当金を計上せず、拠出時に費用処理を行っている。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当・勤勉手当及び、期末手当・勤勉手当に係る法定福利費の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 特別修繕引当金

設備等に係る定期修繕費用の支出に備えるため、支出見込額のうち前回の定期修繕の日から当年度末までの期間に対応する額を計上している。

(4) 貸倒引当金

債権の不能欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。

4. 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。なお、控除対象外消費税等については、当年度の費用として処理している。

II. 予定キャッシュ・フロー計算書等に関する注記

1. 予定キャッシュ・フロー計算書等の表示方法

間接法による

Ⅲ. 予定貸借対照表等に関する注記

1. 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は786,796千円である。

2. 引当金の取崩し

(1) 賞与引当金の取崩し

令和3年度において、期末手当・勤勉手当及び、期末手当・勤勉手当に係る法定福利費として6,948千円を支給することとなったため、賞与引当金2,249千円を取り崩した。

令和4年度吉野町水道事業特別会計予算説明書

収益的収入

款	項	目	本年度	前年度	比較
1. 水道事業収益			346,180	295,770	50,410
	1. 営業収益		179,620	178,800	820
		1. 給水収益	178,250	176,180	2,070
		2. 受託工事収益	30	1,350	△ 1,320
		3. その他営業収益	1,340	1,270	70
	2. 営業外収益		166,510	116,920	49,590
		1. 受取利息	70	70	0
		2. 給水分担金	220	220	0
		3. 使用料	8,390	7,480	910
		4. 雑収益	1,020	300	720
		5. 他会計補助金	78,300	28,580	49,720
		6. 消費税	330	0	330
		7. 長期前受金戻入益	78,180	80,270	△ 2,090
	3. 特別利益		50	50	0
		1. 特別利益	50	50	0
収益的収入合計			346,180	295,770	50,410

収益的支出

款	項	目	本年度	前年度	比較
1. 水道事業費用			366,770	386,020	△ 19,250
	1. 営業費用		339,850	353,800	△ 13,950
		1. 原水及び浄水費	39,840	50,550	△ 10,710

(単位：千円)

節		備 考
区分	金 額	
1. 水道料金	178,250	水道料金
1. 材料売却収益	30	新規加入時等材料
1. 材料売却収益	60	町営住宅メーター代
2. 手数料	1,090	下水道料金徴収事務・休止開栓
3. 雑収益	190	料金システム保守（下水・農排）
1. 受取利息	70	預金利息
1. 給水分担金	220	新規加入分担金（一般 2件）
1. 庁舎使用料	8,390	飯貝庁舎使用料（下水・農排・環境・まちづくり）
1. 雑収益	1,020	ダム警報装置土地賃借・漁協電気・特定収入消費税調整 外
1. 一般会計補助金	78,300	高料金対策・企業債償還利息
1. 消費税及び地方消費税還付金	330	
1. 工事負担金長期前受金戻入	29,530	
2. 国庫補助金長期前受金戻入	35,050	
3. 県補助金長期前受金戻入	6,020	
4. 一般会計補助金長期前受金戻入	220	
5. 工事寄付金長期前受金戻入	1,040	
6. 水力発電交付金長期前受金戻入	270	
7. その他資本剰余金長期前受金戻入	6,050	
1. 過年度損益修正	50	

(単位：千円)

節		備 考
区分	金 額	
1. 給料	140	会計年度任用職員5名分
2. 備消耗品費	140	浄水施設用消耗品
3. 委託料	6,730	保守（計装機器・ポンプ・電気）・施設清掃
4. 手数料	3,000	水質検査
5. 修繕料	9,240	浄水場内設備修理 外
6. 動力費	11,880	飯貝浄水場電気代
7. 薬品費	3,120	塩素・PAC
8. 負担金	3,200	水質検査センター組合・ダム
9. 工事請負費	390	南院谷浄水場活性炭入替
10. 特別修繕引当金繰入額	2,000	活性炭ろ過機ろ材交換

款	項	目	本年度	前年度	比較
		2. 配水及び給水費	37,480	43,150	△ 5,670
		3. 受託工事費	0	1,320	△ 1,320
		4. 総係費	25,370	23,070	2,300
		5. 減価償却費	237,160	235,710	1,450
	2. 営業外費用		24,720	28,910	△ 4,190
		1. 支払利息	24,020	25,910	△ 1,890
		2. 雑支出	700	0	700
		3. 消費税	0	3,000	△ 3,000
	3. 特別損失		200	310	△ 110
		1. 特別損失	200	310	△ 110
	4. 予備費		2,000	3,000	△ 1,000
		1. 予備費	2,000	3,000	△ 1,000
	収益の支出合計		366,770	386,020	△ 19,250

節		備考
区分	金額	
1. 給料	1,700	会計年度任用職員1名分
2. 手当	380	会計年度任用職員1名分
3. 備消耗品費	270	配水施設用消耗品
4. 通信運搬費	1,550	テレメーター・施設警報通知用電話
5. 委託料	4,860	検針業務・漏水調査業務
6. 賃借料	620	施設用地借地料
7. 修繕料	11,390	漏水修理 外
8. 動力費	12,540	加圧ポンプ電気代
9. 材料費	1,850	量水器・漏水修理材料
10. 工事請負費	2,320	量水器取替
1. 工事請負費	0	
1. 給料	6,800	職員2名分
2. 手当	3,700	職員2名分
3. 法定福利費	1,870	職員2名分、会計年度任用職員1名分
4. 旅費	80	研修会等参加旅費
5. 退職給与金	1,150	職員2名分
6. 備消耗品費	780	事務用品
7. 燃料費	800	公用車ガソリン
8. 印刷製本費	280	料金システム帳票類 外
9. 通信運搬費	790	電話代・郵送料
10. 委託料	3,290	システム変更(料金)・システム保守(会計・料金・管路)
11. 手数料	430	口座振替・コンビニ収納・車検 外
12. 賃借料	820	リース(公用車・複合機)・職員駐車場土地
13. 修繕料	990	公用車修理 外
14. 会費負担金	120	日本水道協会・奈良県簡易水道協会
15. 保険料	540	施設・公用車保険
16. 雑費	400	浄化槽点検・庁舎清掃用品 外
17. 公課費	50	自動車重量税
18. 使用料	300	複合機使用料・ケーブル共架料
19. 光熱水費	1,180	庁舎電気・水道・ガス
20. 賞与引当金繰入額	1,000	職員2名分(期末勤勉手当・共済期末)
1. 有形固定資産減価償却費	227,440	建物・構築物・機械及び装置・工具器具備品
2. 無形固定資産減価償却費	9,720	ソフトウェア・水利権
1. 企業債利息	24,020	
1. 雑支出	700	特定収入消費税調整
1. 消費税	0	
1. 過年度損失修正	200	期間外損益修正
1. 予備費	2,000	

資本的收入

款	項	目	本年度	前年度	比較
1. 資本的收入			172,940	133,590	39,350
	1. 企業債		80,400	68,200	12,200
		1. 企業債	80,400	68,200	12,200
	2. 工事負担金		7,700	0	7,700
		1. 工事負担金	7,700	0	7,700
	3. 他会計補助金		67,440	65,390	2,050
		1. 他会計補助金	67,440	65,390	2,050
	4. 出資金		17,400	0	17,400
		1. 出資金	17,400	0	17,400
資本的收入合計			172,940	133,590	39,350

資本の支出

款	項	目	本年度	前年度	比較
1. 資本の支出			312,930	287,620	25,310
	1. 建設改良費		130,130	108,720	21,410
		1. 施設改良費	130,130	108,720	21,410
	2. 企業債償還金		182,800	178,900	3,900
		1. 企業債償還金	182,800	178,900	3,900
資本の支出合計			312,930	287,620	25,310

(単位：千円)

節		備 考
区分	金 額	
1. 企業債	80,400	配管（峰寺）・ポンプ（藤田）・テレメーター（御園） 外
1. 工事負担金	7,700	県補償配管（河原屋）
1. 一般会計補助金	67,440	企業債償還元金
1. 出資金	17,400	配管（峰寺）

(単位：千円)

節		備 考
区分	金 額	
1. 給料	8,600	職員2名分
2. 手当	6,000	職員2名分
3. 法定福利費	2,900	職員2名分
4. 退職給与金	1,460	職員2名分
5. 委託料	7,700	配管工事設計（平尾）
6. 修繕料	5,280	施設等修繕
7. 工事請負費	98,190	配管（峰寺）・ポンプ（藤田）・テレメーター（御園） 外
1. 元金償還金	182,800	